

熊本県阿蘇家畜保健衛生所

〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地2639-1

TEL 0967-22-0041 FAX 0967-22-4612



牛の異常産について

牛の異常産にご注意ください

熊本県では、毎年牛に異常産を起こすアルボウイルスの流行状況の調査を行っており、2019年の調査では8月～11月に熊本県を含めた九州の各県でイバラキ、アカバネ、アイノ、ピートン、サシユペリウイルスの流行が確認されました。今後春先までの期間に牛で体形異常を伴う異常産の発生が危惧されますので、分娩の際には注意をお願いいたします。

疾病別の主な症状とワクチンによる予防

流産、早産、死産、体形異常など「牛の異常産」は、細菌、ウイルス、栄養障害など様々な原因があります。中でも、蚊やヌカカが媒介するウイルス感染症による異常産は、時に大規模な発生となり、経済的な損失が大きい疾病です。ウイルス感染による異常産の一部は、ワクチンにより予防できますので、蚊やヌカカが発生する前の春にワクチンを毎年接種することが重要です。

疾病名	アカバネ病 (ピートンウイルス感染症)	チュウザン病	アイノウイルス感染症
発生時期	夏～翌年春	秋～翌年春	夏～翌年春
臨床症状			
	水無脳症（大脳欠損や小脳欠損）		
	<ul style="list-style-type: none"> ・流産・早産・死産 ・脊柱のわん曲 ・起立困難 ・盲目等の神経症状 	<ul style="list-style-type: none"> ・虚弱、盲目、起立不能 ・体形異常はない ※ディアギュラウイルス感染症も同様の症状 	<ul style="list-style-type: none"> ・流産・早産・死産 ・脊柱のわん曲 ・起立困難 ・盲目等の神経症状
ワクチン	異常産3種混合ワクチン（アカバネ病、チュウザン病、アイノウイルス感染症）		
	異常産4種混合ワクチン(上記+ピートンウイルス感染症)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・繁殖牛に4週間隔で2回、筋肉内に接種する。 ・前年に接種経験のある牛は、1回、筋肉内に接種する。 ・ウイルスを媒介する吸血昆虫（蚊やヌカカ）が活発化する前に接種する。 		

イバラキ病は流死産を起こすことがあり、生及び不活化ワクチンがあります。

沖縄県でCSF（豚熱）が発生しました

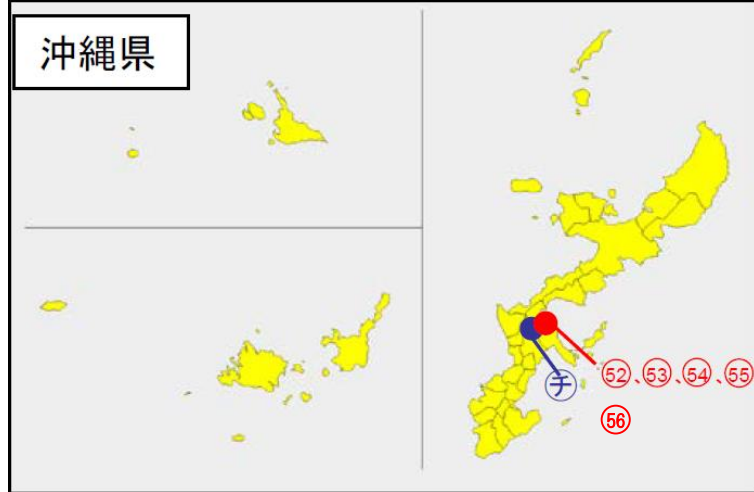
1月8日、沖縄県うるま市の養豚農場でCSFが発生しました。以降、うるま市及び沖縄市で発生が拡大しています。

分離されたウイルス株は、これまでに国内で確認された株から変異した株と考えられました。

また、発生農場で肉製品を含む加熱不十分な食品残さが給与されていたと考えられています。このような飼料を給与する場合の加熱処理を徹底することは、CSFの感染防止はもとより、我が国への侵入が警戒されているASF（アフリカ豚熱）の侵入防止のためにも、重要です。

引き続き飼養衛生管理基準を遵守していただくとともに、CSFやASFの特定症状が確認された場合は、当所まで通報ください。

引き続き飼養衛生管理基準を遵守していただくとともに、CSFやASFの特定症状が確認された場合は、当所まで通報ください。



出典：農林水産省 CSF国内発生状況

㊦：53例目関連農場



耳翼の紫斑



元気がない

※従来の「豚コレラ」「アフリカ豚コレラ」が、「豚熱」「アフリカ豚熱」と名称変更されました。

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地（国）	畜種	発生日月日
口蹄疫	O型	新疆ウイグル自治区	牛	令和元年(2019年)12月30日
		ロシア	牛	令和2年(2020年)1月27日
高病原性鳥インフルエンザ	H5N2	台湾(3件)	地鶏、肉用アヒル、ガチョウ、七面鳥	令和2年(2020年)1月3日 ～令和2年(2020年)1月20日
	H5N5	台湾(3件)	地鶏、七面鳥	令和2年(2020年)1月6日 ～令和2年(2020年)1月22日
ASF		韓国	野生イノシシ	令和2年(2020年)1月28日 ～令和2年(2020年)1月29日

令和2年(2020年)2月3日現在



毎月20日はくまもと家畜防疫の日

韓国や台湾など近隣諸国では依然として悪性家畜伝染病が発生しています。地域全体で衛生水準を上げる事が重要です。

防災情報や家畜伝染病発生情報を配信しています。
下記アドレスもしくは右のQRコードより、登録用ホームページへ！

<http://www.anshin.pref.kumamoto.jp/>

